



H29. 4. 7. No1358  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部漁業振興課  
URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

本制度は、外国人が報酬を得ながら働き、技術や専門知識を学ぶ事を目的とするもので、ミャンマーからの実習生を漁業で受け入れるのは全国初となります。実習生は、下田市での2か月間の研修の後、キンメ漁船に乗船します。

### 1. 県漁協女性部大会が開催される

#### —県漁協女性部連合会—

漁家の安定した生活設計のための貯蓄運動推進をきっかけに組織され、昭和31年9月26日に創立した県漁協女性部連合会（滝恭子会長）は、今年創立60周年を迎え、3月10日静岡県コンベンションホール グランシップ（静岡市）において、「第60回静岡県漁業協同組合女性部大会」を開催しました。

当日は、参加者全員で漁協女性連綱領及び水産物消費拡大5か条を唱和し、漁協女性部の歌斉唱の後、主催者として滝会長が挨拶「今年で60周年の節目を迎えた。全国的に部員の減少や高齢化など課題はあるが、時代の変化に合わせて、自分達で実践できる事を見つけ、皆で励まし合いながら、一步一步前進し、次の世代へ良い形で渡していければと思う」と述べました。続いて、来賓として中平英典県経済産業部水産局長（平塚聖一水産振興課課長代理代読）、田中平八県漁連専務、宮原淳一 JF 静岡信漁連会長が、祝辞を述べられました。

記念式典では、最近10年間で会長を務めた4人に感謝状が贈呈され、スライド上映により60年の歩みを振り返りました。また、午後からは、吉村栄子 JF 全国女性連会長（山口県漁協女性部長）による「海の幸で地域に笑顔を賑わいを」と題した記念講演が開催され、参加者は、吉村会長の情熱と行動力に熱心に耳を傾けていました。

最後に大会宣言を全会一致で採択し60周年の記念大会は閉会しました。

### 2. 県下沿海地区漁協 役員改選のお知らせ

3月に総（代）会を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了等による役員改選を行った漁協の組合長が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

▽内浦漁業協同組合 代表理事組合長 土屋孝次（新）  
▽静岡漁業協同組合 代表理事組合長 大川隆夫（留）  
▽沼津我入道漁業協同組合 代表理事組合長 川口正典（新）

### 3. ミャンマーから実習生を受入れ

#### —伊豆漁協—

伊豆漁協では、外国人技能実習制度により実習生の受け入れをすることとなり、3月9日、視察のため来日したミャンマー漁業連合（MMF）の歓迎レセプションをホテル伊豆急（下田市）において開催しました。

歓迎レセプションは、福井下田市長、地元選出県議会議員をはじめ、各方面から多くの関係者出席のもと開催され、伊豆漁協佐藤組合長は「実習生は、我が国の優れた漁業技能を習得され貴国の漁業発展に貢献してくれるものと信じている。この事業を通じミャンマー国と我が国の交流、連携が深まることを祈念する」と挨拶、これに対しMMFのウ・ニン・ウー筆頭副理事長は「民主化に伴い、国を挙げて経済力の発展に取り組んでいる。若い漁業者を派遣するので指導をお願いしたい」と要請しました。

### 4. 第47期生15人巣立つ

#### —県立漁業高等学園—

静岡県立漁業高等学園（青木一永園長）では、3月10日平成28年度（第47期生）卒業式が執り行われ、本県漁業の次代を担う若人15名が巣立ちました。

式典では、青木園長から卒業生一人ひとりに卒業証書が授与され「漁師になるための知恵と勇気の種を植えた。この種は必ず芽を出すので、しっかり働いて大きくしてほしい。この種を後輩に与えてもらうことで県漁業が発展していくと確信している」と激励しました。また来賓として中野弘道焼津市長、中平英典静岡県経済産業部水産局長がそれぞれ祝辞を述べられました。

これに対し、卒業生を代表し、小林純也さん（新潟県新潟市出身）が答辞に立ち「県内漁業の担い手として強さとたくましさだけでなく、しなやかで優しい心を持った海の男となることを誓います」と決意を述べ、卒業式は終了しました。

なお、本年度の卒業生は、県内7名、県外8名（千葉県柏市、神奈川県川崎市、長野県松本市、新潟県新潟市、千葉県野田市、東京都板橋区、奈良県生駒市、兵庫県西宮市）の15名で、それぞれ次の漁業関係に就職が決定しています。

▽遠洋マグロ延縄船1名  
▽遠洋カツオ船5名  
▽海外まき網船1名  
▽サバ船2名  
▽大中型まき網船2名  
▽キンメ船2名  
▽定置網1名  
▽シラス船曳網船1名

### 5. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）

◇異動（昇格含） 4月1日付  
▽総務担当参事 鈴木 博（総務担当参事兼総務部長）  
▽指導担当参事＜嘱託＞ 鈴木雄策（指導担当参事兼指導部長＜嘱託＞）  
▽指導部長心得兼協同組合課長 青山 一弘（指導部協同組合課長兼漁業振興課）  
▽総務部長心得兼総務課長 森 真基（総務部総務課長）  
▽静岡事業所長心得 森下 謙（静岡事業所主任兼所長事務取扱）  
▽指導部協同組合課長補佐兼漁業振興課 五十風 純（指導部協同組合課主任兼漁業振興課）  
▽静岡事業所主任 村松 豊（沼津事業所主任）  
▽温水利用研究センター主任 砂子剛（温水利用研究センター生産担当主任）  
▽温水利用研究センター沼津分場主任 山下哲也（温水利用研究センター沼津分場生産担当主任）  
▽沼津事業所担当主任 増田 悟（沼津事業所）  
▽温水利用研究センター生産担当主任 大井英治（温水利用研究センター）  
▽沼津事業所 東 知寛（静岡事業所）  
▽購買部石油課兼資材課兼販売部事務取扱 関原佑梨（静岡事業所）  
▽焼津事業所 吉田 響（焼津事業所浜名駐在）  
▽総務部総務課＜嘱託＞ 小久保暢子（購買部石油課兼資材課兼販売部販売課＜嘱託＞）

◇新規採用 4月1日付  
▽静岡事業所 山田真善  
▽あさり出荷センター 佐藤陽介  
◇退職 3月31日付  
▽望月俊秀（あさり出荷センター）  
▽大石恵子（総務課）

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう